

令和5年度事業計画

〈概要〉

令和5（2023）年は、會津八一と親交を結んでいた文化人の周年事業に絡めた展示を企画する。

まず、特別展は板画家棟方志功生誕120年を記念し、知性溢れる會津と感性豊かな棟方の交流や、棟方の疎開先、富山県南砺市福光にある棟方の板画や會津の書などを紹介する。

春の企画展は「八一を知る 八一がわかる」のシリーズ第3弾。今回は、會津の文芸の中心となる短歌をテーマに取り上げる。また大学時代の同級生で良寛研究家の相馬御風生誕140年を記念し、會津と相馬が敬慕した良寛に関連した作品や遺品を展示する。

冬の企画展は、會津の主治医で脳神経外科医の中田瑞穂生誕130年を記念に二人の息の合った合作や、中田の四季折々に描いた超写実的な水彩画を展示する。併せて第17回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

夏の企画展は、會津が看板を揮毫した北方文化博物館（江南区沢海）とのテーマに企画。博物館が所蔵する會津の墨蹟や関連作品などを紹介する。

普及活動では、①會津八一祭に、昨秋、石工の左野勝司氏が會津の書画を原稿にして彫った石版9枚の拓本体験と講演会を計画②好評だった八一のいしぶみ巡り（新潟市内）第2弾③館長講座の継続④写真コンテスト全国巡回展などを予定している。

新潟市名誉市民・會津八一の業績や人柄が若い世代から高齢世代に至るまで関心を抱かせるような視点で企画し、生涯教育に生かせるよう展開していきたい。

〈事業計画の内容〉（企画展160万円 特別展300万円）

（ア）展覧会事業 開館日数 282日

分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1 企画展	八一を知る・八一がわかる ～短歌編～ 併設：相馬御風生誕140年 良寛を愛した八一と御風	4月4日（火） ～6月25日（日） 72日間	27歳の時に初めての奈良旅行で詠んだ歌から、生涯で最後となった香川県の八栗寺の鐘銘に刻んだ歌に至るまで、歌作の年代順に八一の歌を紹介し、75年にわたる八一の人生をたどる。また、相馬御風生誕140年を記念し、八一と御風が良寛を敬慕した書作品や良寛の遺品なども展示する。
2 企画展	<越後の豪農> 北方文化博物館と會津八一	7月4日（火） ～9月24日（日） 72日間	會津八一が晩年10年間暮らした北方文化博物館新潟分館の関連作品資料を中心に、北方文化博物館と当館所蔵の作品資料と併せて展示する。これまで展覧会の一部で北方文化博物館を紹介してきたが、今回の展示では中心テーマにして展観する。
3 特別展	棟方志功生誕120年記念 會津八一と棟方志功 －知性と感性－	10月3日（火） ～12月10日（日） 60日間	板画家・棟方志功生誕120年を記念し、會津と親交を結んでいた棟方との2人展を開催。會津と棟方の書と板画の合作の双幅をはじめ、棟方作品では富山・福光時代の代表作や新潟県内にある倭絵・書を、會津作品は富山・福光で頒布会した時の墨蹟や県内の棟方ゆかりの地にある書を中心に展示。
4 企画展	中田瑞穂生誕130年 詩書画三絶 同時開催 第17回秋草道人賞写真コンテスト入賞入選作品展	12月19日（火） ～令和6年3月24日（日） 78日間	詩と書と絵、そのどれもが優れていることを「詩書画三絶」という。本展では會津八一の自画賛や、生誕130年を迎えた中田瑞穂との合作など、当館所蔵の詩書画を中心に紹介する。中田瑞穂は世界的な脳神経外科医であり、俳句や書画を能くした人物である。二人の交流も含めて、広く紹介したい。

展示替えのための休館日	6/26～7/3(8日間)、9/25～10/2(8日間)、12/11～18(8日間)		
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）	午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日	午前11時

(イ) 普及活動 ※交渉予定も含む

〔講演会〕(120万円)

八一祭特別企画 [内 容] 高校生拓本大会※講演と拓本体験
(左野勝司氏制作の八一書の石版をもとに)
[日 時] 令和5年7月30日(日) 午前9時～午前12時半
[会 場] メディアシップ 日報ホール
[参加費] 無料

特別展 1【記念トークイベント】

[出演者] 松村雄基氏(俳優、書家)、角田勝久氏(新潟大学准教授)
[内 容] 會津八一・棟方志功が尊敬していた良寛をテーマとする
※良寛詩の詩吟と揮毫も
[日 時] 令和5年10月24日(火) 午後または夜
[会 場] メディアシップ 日報ホール
[聴講料] 1,000円
[定 員] 120名

2【記念講演会】

[講 師] 石井頼子氏(棟方志功の孫、元棟方板画美術館学芸員)に交渉予定
[演 題] 會津八一と棟方志功との交流
[日 時] 令和5年11月18日(土) 午後2時～3時半
[会 場] 日報ホール(メディアシップ2階)
[聴講料] 1,000円
[定 員] 120名

春・文芸講演会

[講 師] 山田富士郎氏(歌人)
[演 題] 八一の歌と生
[日 時] 令和5年6月2日(金) 午後2時～3時半
[会 場] メディアシップ 日報ホール
[定 員] 120名
[参加費] 500円

夏・文芸講演会

[講 師] 伊藤勝也氏(北方文化博物館理事長)
田中茉莉恵氏(北方文化博物館主任学芸員)
[演 題] 北方文化博物館、會津八一を語る
[日 時] 令和5年8月29日(火) 午後2時～3時半
[会 場] メディアシップ 日報ホール
[定 員] 120名
[参加費] 500円

冬・文芸講演会

[講 師] 未定
[演 題] 未定
[日 時] 未定
[会 場] 未定
[定 員] 未定

〔文学散歩〕

會津八一のいしぶみ巡り(新潟市内) 約4.5*

コース:古町ルフル集合。浅川園⇒北方文化博物館分館⇒西海岸公園⇒旧會津記念館⇒會津八一生誕跡⇒瑞光寺

日にち:2023年10月頃

時間:午後1時から午後4時

定員:15名

参加費:800円、保険料、入館料、「會津八一のいしぶみ」〈新潟編〉冊子代込み

〔講座〕

館長講座「書に親しむ(3)」 年4回(12万円)

日にちとテーマ: ① 5月11日(木)「書とその周辺」

② 7月11日(火)「中林梧竹と副島蒼海」

③ 10月17日(火)「棟方志功の書」

④ 令和6年2月18日(日)「現代の書」—現状と課題

会場:日報ホール

定員:120名

参加費:4回連続の場合:2,000円(図録『書之美ヒストリア』を贈呈と1回分入館料無料)

単発:500円

学習講座 會津八一の歌を読む会「かまづかの会」(会費で充当)

講師:若月忠信氏(文芸評論家)

日時:毎月第1土曜日 午後1時30分~3時

会場:砂丘館

出前講座

4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに出前講座の案内を送り、依頼のあるところから実施

※會津八一の出身校(新潟小学校、新潟高校)に「学規」のはがきを贈呈と「学規」に因んだ出前授業を勧める

〔公募〕

「會津八一の歌を映す」第17回秋艸道人賞写真コンテスト(265万円)

① 令和5年4月中:公募ポスターと応募要項の制作と発送

② 11月中旬:締め切り

③ 12月上旬:審査・結果発表

④ 令和6年2月:表彰式

〔巡回展〕

第16回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

いかるがホール(奈良県斑鳩町)	4月12日	4月30日	入賞作品7点
奈良県立図書情報館	5月16日	5月28日	入賞入選30点
中村屋サロン美術館	6月7日	7月9日	入選入賞30点
三千院	7月予定		入賞作品7点
高松市市民活動センター	10月予定		入賞入選30点、複製作品
胎内市産業文化会館	11月予定		入賞入選30点

〔その他〕

鑑定会 春秋2回を予定(21万円)

春の部

日時:令和5年6月10日(土)を予定 午後1時30分~3時

会場:會津八一記念館